


【平成28年度 第1回提出】業務棚卸評価シート

1 事業の概要と実績

No.	2			シート作成者		-	-
事務事業名	消防緊急通信指令システム運用事務			事務区分	自治事務	部課かい名	消防本部 指令情報課
事業の目的	消防緊急通信指令システムを適切に運用し、各種災害に対して有効な対応を図る。			事業の目標	365日安定運用する。		
事業の概要	通信指令業務及び関係事務のマニュアルに従って適切に行う。 職員間で知識等を共有し、状況に応じた対応ができるように、意識の向上を図る。						
対象	茅ヶ崎市・寒川町の消防職員及び市民、町民			事業の性質区分	定例・定型	業務計画	■
指標	システム運用に関する業務状況						
27年度(第2次実施計画)		28年度(第3次実施計画)		29年度(第3次実施計画)		30年度(第3次実施計画)	
目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
366日安定運用	寒川町との指令業務の共同運用を開始し、366日安定運用達成した。 災害対応件数13,217件	365日安定運用		365日安定運用		365日安定運用	
27年度		28年度		29年度		30年度	
事業費	実施計画事業費	-	0	0	0	※金額については1円単位で記入してください	
	予算額	0	0				
	決算額	0					
	執行率						
	従事者数	4.43	6.45				
	職員	3.93	6.26				
	臨時・非常勤等	0.5	0.19				
財源内訳	特定財源						
	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源						

2 事業実施状況に対する評価

事業の必要性		<p>消防緊急通信指令システム運用事務は市民からの119番通報を受信し消防隊などに指令を行い、効率、効果的に消防力を災害現場へ投入することが主な事務となる。また、災害活動に関わる様々な情報を収集し円滑な災害活動を実施し災害関係機関との情報共有を行い連携を図る事務も担っている。</p> <p>現在、多様化するあらゆる災害に対応していることを踏まえ目的は達成している。また、少子高齢化に伴い高齢者同士の介護が社会問題となっている一方で外国人観光客及び労働者の増加など、災害対応の窓口としての消防通信指令業務はさらに多様化し、市民サービスに対する期待値も高まることが想定される。このようなことから今後の事業としての継続性は非常に高く、平成27年度から寒川町との指令業務の共同運用を開始したことを踏まえ、更なる運用の効率化について検証を進める。</p>
事業実施状況に対する分析(課題の抽出)		
事業成果	<p>本事業の目的である「消防緊急通信指令システムを適切に運用し、各種災害に対して有効な対応を図る。」ことを実現するに当たって、24時間366日無停止で安定運用を実現できたことが成果として現れている。しかしながら、消防本部が市役所本庁舎へ移転することで生じた、新しい指令システムでの運用や寒川町との指令業務の共同運用については社会情勢の変化に対応することが求められている。</p>	
事務効率	<p>「消防緊急通信指令システムを適切に運用し、各種災害に対して有効な対応を図る。」といった目的達成という観点からは事務効率は十分に良好である。</p> <p>その一方で、隔日勤務者が24時間366日運用しており、事務の継続には引継ぎ作業によるところが大きく、職員間において重要度、緊急度を共有し、その部分については一定の水準を定め、マニュアルを強化し、研修等を実施し更なる事務の効率化を図ることが重要である。</p>	
事業成果及び事務効率に対する評価		<p align="center"></p> <p>実施手法は効率的かつ効果的であり、成果があがった</p>

3 今後の事業展開(事務改善)

今後の事業展開(事務改善)	
改善の方向性	27年度の評価を踏まえた28年度以降の取組内容
事業(活動)の効率・成果を高める	<p>事業成果の視点及び事務効率の視点から、新規事務や隔日勤務者の事務について更なる効率化を図る必要がある。</p> <p>今後の取り組みとして、本事業については既に成果が出ていることから現状を維持しつつ、平成28年度中に隔日勤務者が円滑に事務を行えるよう事務レベルの水準を設定し、規程を整備する。さらに、理解しやすいマニュアルを同時期に作成し、研修を行うとともに既存のマニュアルを見直すことで事務の向上に取り組む。</p>

4 事業を構成する活動に係る改善内容

[illegible][illegible][illegible][illegible]

【平成28年度 第1回提出】業務棚卸評価シート

1 事業の概要と実績

No.	3			シート作成者	-	-
事務事業名	消防緊急通信指令システム維持管理事業	事務区分	自治事務	部課かい名	消防本部 指令情報課	
事業の目的	消防緊急通信指令システムの正常な機能を維持し、障害の発生を未然に防止して指令業務の円滑な運用を図る。	事業の目標	システム維持管理 定期保守1回、セキュリティソフト更新2回			
事業の概要	寒川町と指令業務を共同運用するとともに、消防緊急通信指令システムの安定稼働を維持する。					
対象	茅ヶ崎市・寒川町の消防職員及び市民、町民	事業の性質区分	政策		業務計画	■
指標	119番受信システムの安定運用					
27年度(第2次実施計画)		28年度(第3次実施計画)		29年度(第3次実施計画)		30年度(第3次実施計画)
目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値 実績値
システム維持管理 定期保守点検1回、 セキュリティソフト更新2回	指令システムの安定 運用率100%	システム維持管理 定期保守点検1回、 セキュリティソフト更新2回		システム維持管理 定期保守点検1回、セキュリティソフト更新2回		システム維持管理 定期保守点検1回、セキュリティソフト更新2回
		27年度	28年度	29年度	30年度	※金額については1円単位で記入してください
事業費	実施計画事業費	-	125,159,000	129,642,000	74,651,000	
	予算額	93,334,000	125,159,000			
	決算額	88,852,350				
	執行率	95.2%				
	従事者数	2.88	6.14			
	職員	2.63	5.95			
財源内訳	臨時・非常勤等	0.21	0.19			
	国庫支出金					
	県支出金		2,069,000			
	地方債					
	その他	4,408,991	37,024,000			
一般財源		84,443,359	86,066,000			

2 事業実施状況に対する評価

事業の必要性	
<p>消防緊急通信指令システムは、119番緊急通報の受信を適切に管理して管轄地域で発生した災害に対し、的確・迅速な出動指令を行い、消防隊・救急隊等を現場へ急行させることで、市民の生命、財産を守る重要なシステムである。</p> <p>年間を通して安定稼働を実現していることから目標は達成しているが、市民ニーズが多様化する中、大規模災害となるテロ災害や震災などに対応するため、今後も安定運用を継続する必要がある。</p> <p>市役所本庁舎でのシステム運用開始や寒川町との指令業務の共同運用が開始されたことにより、維持管理に係る費用の低廉化などを視野に入れつつ効率的に安定運用を実施していくことが必至である。</p>	
事業実施状況に対する分析(課題の抽出)	
事業成果	<p>事業目的を24時間366日、指令業務の円滑な運用を実施し、障害対応も迅速に実施できたことで消防緊急通信指令システムの安定稼働の維持については事業成果は出ていると考える。しかしながら維持管理経費について経費縮減を図る一方で安定運用を実現するため費用対効果を最大限に発揮することが課題となっている。</p>
事務効率	<p>事業目的について成果は出ており、事務効率も良好と考える。寒川町との指令業務の共同運用が開始されたことから、救急件数の増加、通報の多様化により継続的な消耗品の交換、修繕、点検(法定、任意)などの保守業務や消防業務計画に合わせたシステムの増設及び改修など事務が増加することが想定され、維持管理については経費の縮減が難しいことが課題である。</p>
事業成果及び事務効率に対する評価	
実施手法は効率的かつ効果的であり、成果があがった	

3 今後の事業展開(事務改善)

今後の事業展開(事務改善)	
改善の方向性	27年度の評価を踏まえた28年度以降の取組内容
事業(活動)の効率・成果を高める	<p>24時間体制で365日、市民から119番緊急通報を受信し、出動部隊に的確・迅速に出動指令を行うためには、消防緊急通信指令システムの機器を良好な状態で維持することが必要不可欠である。このことから、機器の維持管理というハード面とプログラム改修やデータ活用などのソフト面について継続して事務を進めていく。</p> <p>その一方で、随時、指令業務に従事する職員に研修を行うことで適正な維持管理の知識及び技術の向上を図り、計画性を持った事務を実施する。また、障害を未然に防ぐことや障害の発生を減らすことで事務効率をさらに向上させる。</p>

4 事業を構成する活動に係る改善内容

事業を構成する活動(27年度)						
項番	活動内容	活動指標	目標値	実績値	予算額(円)	決算額(円)
3-1	システムの管理(委託料)	システム稼働日数	366日	366日	19,656,000	19,699,200
3-2	システムの維持(通信運搬費)	システム稼働日数	366日	366日	12,515,000	11,643,687
3-3	消耗品の交換に係る事務(消耗品費)	システム稼働日数	366日	366日	900,000	899,961
3-4	システムの修繕(修繕料)	システム稼働日数	366日	366日	100,000	97,200
3-5	気象観測装置機器の維持管理	システム稼働日数	366日	366日		
3-6	消防救急デジタル無線運用管理(共通波)(負担金補助及び交付金)	システム稼働日数	366日	366日	3,853,000	202,902
3-7	消防緊急通信指令システムの維持(使用料及び賃借料)	指令システム運用状況	機器リースによる 安定運用	機器リースによる 安定運用	29,551,000	29,550,400
3-8	車両動態位置管理装置システムの維持(使用料及び賃借料)	指令システム運用状況	機器リースによる 安定運用	機器リースによる 安定運用	17,455,000	17,455,000
3-9	消防支援情報管理装置の維持(使用料及び賃借料)	指令システム運用状況	機器リースによる 安定運用	機器リースによる 安定運用	9,304,000	9,304,000

[illegible]

事業を構成する活動(28年度)						
項番	活動内容	活動指標	目標値	実績値	予算額(円)	決算額(円)
3-1	システムの管理(委託料)	システム稼働日数	365日		47,557,000	
3-2	システムの維持(通信運搬費)	システム稼働日数	365日		14,513,000	
3-3	消耗品の交換に係る事務(消耗品費)	システム稼働日数	365日		900,000	
3-4	システムの修繕(修繕料)	システム稼働日数	365日		100,000	
3-5	気象観測装置機器の維持管理	システム稼働日数	365日			
3-6	消防救急デジタル無線運用管理(共通波)(負担金補助及び交付金)	システム稼働日数	365日		680,000	
3-7	Eメール指令用サーバ活用(手数料)	システム稼働日数	365日		1,468,000	
3-8	無線機購入(備品購入費)	分団長以上配置	30機		8,131,000	
3-9	ウィルスソフトライセンス(賃借料)	ウィルスソフト更新	2回		193,000	
3-10	消防緊急通信指令システムの維持(使用料及び賃借料)	指令システム運用状況	機器リースによる 安定運用		27,088,000	
3-11	車両動態位置管理装置システムの維持(使用料及び賃借料)	指令システム運用状況	機器リースによる 安定運用		16,000,000	
3-12	消防支援情報管理装置の維持(使用料及び賃借料)	指令システム運用状況	機器リースによる 安定運用		8,529,000	

[illegible]